

2020年4月24日

一般社団法人鹿児島県サッカー協会
専務理事 東條 健一

ご挨拶

2020年度3種委員会総会にあたり、ご挨拶申し上げます。

2019年度はご承知の通り終了間際の2020年1月に発生した新型コロナウイルス感染拡大防止対策の影響により、2か月にわたりサッカー活動の自粛を余儀なくされましたが、2020年度に入った本日4月24日現在もスポーツ活動の自粛が継続されており、選手の皆さんはもとより保護者、指導者の先生方も多くのストレスを感じられていることとお察しいたします。

日本全体が、世界が団結して難局を乗り越えようとする状況を鑑みますと止むを得ない対応かと思えます。県協会として、はっきりとした指針、方針をお示し出来ていないことは心苦しいところですが、危機感を持ちもうしばらく引き続きサッカー活動の自粛、特に対外試合はしないようにという方向でご理解を賜りたいと思えます。

さて、3種委員会は鹿児島県サッカーの競技力向上において、もっとも重要な育成年代の競技力向上のために、技術委員会・各カテゴリーと協働し大変重要な役割を担って頂いているところです。また、鹿児島FAではJFAの指針に基づき2017年度から技術担当専任者を配置し、学校部活動への取組等今後ますます役割が多岐にわたるなか、年間を通じたリーグ戦他各種大会運営、中体連関連、地区トレセン活動、指導者養成等しっかりとJFA・日本スポーツ協会の指針に沿った活動、そして補助金や会計処理においても常に透明性を持った見本となる処理を行って頂いていることを心から感謝いたします。

今年度は新型コロナウイルス感染防止対策の影響で各種大会、リーグ戦のカレンダー等計画が先送りされる中、やはりサッカーファミリーの生命・安心・安全があつてこそそのサッカー、スポーツであることを踏まえ、長期戦が予想されますが、皆さんと一緒に粘り強くこの難局を乗り越えてまいりたいと思えますので、今年度も引き続きご理解とご協力をお願いいたします。新型コロナ禍に負けない様ご自愛ください。